

有田コープファーム

所在地 和歌山県有田郡有田川町田口

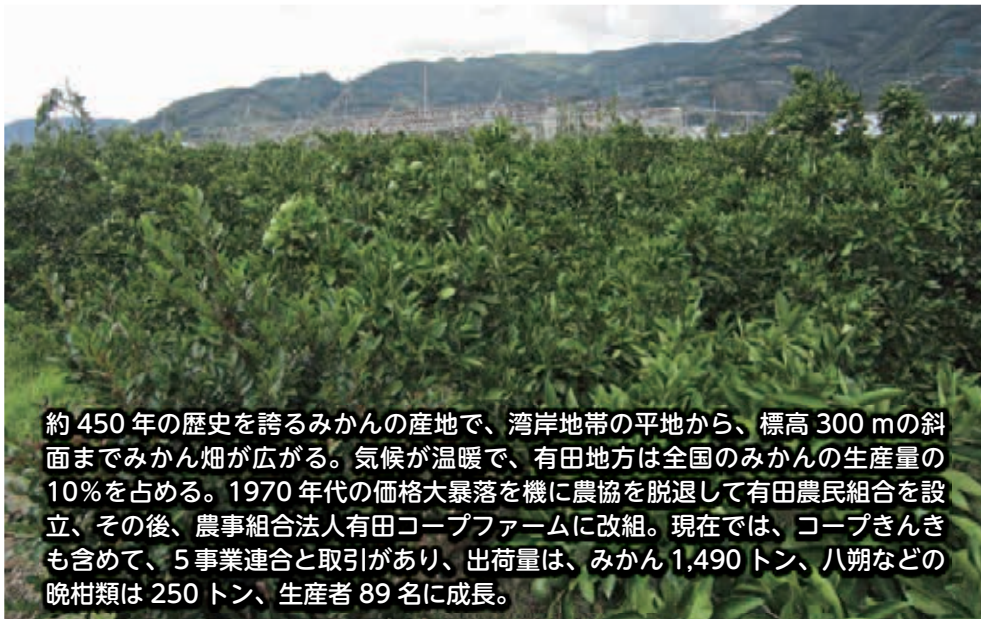
視察日 2015年9月10日(木)

主な取扱品目

有田みかん、冷凍みかん、わけありしらぬい、セミノール他

生産者の声

「安心・安全」をモットーに、土づくりから、この地域の気候を最大限に利用したみかんづくりをしています。また、組合員さんとの産地交流は、自然の中でみかんが栽培されることをみてもらえる機会ですし、直接お話出来ることで元気をいただきます。異常気象に振り回されていますが、生産者一同『有田みかん』を守り、組合員の皆さんに美味しいみかんをお届けできるようこれからも取り組んでいきます。



約450年の歴史を誇るみかんの産地で、湾岸地帯の平地から、標高300mの斜面までみかん畑が広がる。気候が温暖で、有田地方は全国のみかんの生産量の10%を占める。1970年代の価格大暴落を機に農協を脱退して有田農民組合を設立、その後、農事組合法人有田コープファームに改組。現在では、コープきんきも含めて、5事業連合と取引があり、出荷量は、みかん1,490トン、八朔などの晩柑類は250トン、生産者89名に成長。

商品の特徴



有田みかんは、主に宮川早生という品種で、外皮は薄くむきやすいのが特徴です。内袋も薄くやわらかいので食べやすいです。味と安全性を最優先に、地域慣行栽培の3割減の農薬散布にとどめ、エチレングスやワックスも使用していません。集荷時、全ての生産者のサンプリング検査を行い、一定の糖度を基準にし、糖と酸のバランスを重視した基準で出荷しています。

参加理事のコメント

近年Mサイズのみかんが好まれる傾向にあり、自然の中で収穫時にサイズを合わせられるよう栽培されていました。自然を相手に消費者の声に応えようと努力されている姿に、あらためて、みかんは食べ物、自然の恵みであることに気づき、この地域の農業と経済を支えていることを感じました。後継者問題、異常気象など課題はありますが、この先もずっとここで美味しいみかんを作り続けて頂きたい、お互いできることをがんばろうと話してきました。

